

事務事業名		水道施設地図情報システム整備事業			会計	水道事業				
課等名		水道課			事業種別	経常	開始	17	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	水道本管施設 給水施設(個人)			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	既設(アナログ)台帳を数値化(デジタル)する				数値化本管延長(km)			8	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度				給水管データ更新(件)			3075	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	数値化本管延長(km)			200	8	10			
	成果指標	給水管データ更新(件)			0	3075	4000			
	定性目標									
事業概要	水道施設の情報を地図と重ねデジタル化して、コンピューターに記憶保管し維持管理を容易とするため。									
	事業内容					名称			活動指標	
24年度事業内容	数値化本管延長(km) 給水管データ更新(件)					データ化および補正延長 km データ更新件数 件			8km 3075件	
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		23,730	20,000	17,903	25,000					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		23,730	20,000	17,903	25,000					
一般財源										
人件費計(千円)②		5,189		5,189						
正規職員所要時間		1,000		1,000						
臨時職員所要時間		1,500		1,500						
総事業費①+②		28,919	20,000	23,092	25,000					
事業内容・目標達成状況の振り返り		当初計画分の補正を完了し、また、現場との突合によりデータの精度が向上した。								
改革改善の考え方	①問題点	下水道施設・都市計画基本図データの整備年次の差による位置精度が低いデータであることが課題である。								
	②改革提案	各データとの位置補正を行い相関性を図る。								